



優秀賞  
トライポッドワークス  
株式会社

# 「乳児見守り支援システム べびさぼ」

## 保育士が安心して働ける環境を「映像IoT」で

### DATA

活用領域・解決する課題	乳児見守り、保育士業務見守り、働きやすさ向上
テクノロジー・デバイスキーワード	映像解析ソリューション、IoT 対応照明、Wi-Fi

生後五カ月までの乳児に起きることがある突然死は、根本的な原因が解明されていないという。ゼロ歳児を受け入れる保育園では5分おきの見守りが実行されているが、どんな仕事でもヒューマンエラーは発生する。

「IoTを使って乳児の突然死をゼロにできないか」——保育園「ビックマランド」(宮城県)の経営者の声を元に開発されたのが、トライポッドワークスの「べびさぼ」である。

### 乳児と保育士の仕事をリアルタイムで見守り

同システムは、寝ている乳児をカメラで見守り、動きがあるか、うつぶせ寝をしていないか、見守りが来たかなど、様子をリアルタイムに解析する。5分間を1単位とし、時間内に動きがあれば次の5分へ、動きがない場合は照明の色の変化と優しいメロディでアラートを発する仕組みだ。

映像は同時にタブレット端末にも映し出され他の保育士も見ることが可能。また、録画が保存されるので、万が一のときは確認資料にもなる。

開発を手がけたイメージソリューション部部長の渋谷義博氏は、約2カ月、保育園にカメラを入れて状況を把握し、この方式を提案した。

「現場では仕事がきちんと回りますので、センサーでピンポイントの

検知をして“人がシステムに従う”のではなく、現場を見守って万が一に備え、気持ちを楽に仕事にあたっていただけのシステムが最適と考えました」

システム構築は約3カ月と短期間で完成した。その理由は、トライポッドワークスがすでにカメラ+映像解析を手がけていたことにある。

同社代表取締役社長の佐々木賢一氏は、「IoTといえばセンサーを使ったシステムが多いですが、人の側から見ると、センサー情報と視覚情報では、圧倒的に視覚情報の方がわかりやすく行動しやすい。そこで当社では、建設業などの業務ニーズに合った映像解析サービスを提供しているのです」と背景を説明する。

### 現場の使いやすさに配慮 保育園になじむランプの光

お知らせ用ランプは優しい光を出せるフィリップスの「HUE」を採用。忙しい保育の現場で無理なく利用して

図 「べびさぼ」のシステムイメージ



トライポッドワークス  
代表取締役社長 佐々木賢一氏(右)  
技術統括本部 イメージソリューション部 部長  
渋谷義博氏(左)

もらえるように、ランプの色は緑(通常)、黄色、赤の3種類を基本とした。「HUE」はAPIが公開されているため開発コストを抑えることもできた。

「べびさぼ」を活用している保育園からは、「見守られていることで保育士に、よりいっそうの自覚と責任感が生まれる」「操作が簡単でわかりやすい」などの感想が届いている。

「働き方改革が叫ばれていますが、保育士さんの一番の不安材料「責任の重さ・事故への不安」を軽減するべびさぼで、安心して働ける施設づくりのお手伝いをしたい。保育園不足の解消にも貢献できるはず」と渋谷氏は意気込みを語る。

現在、企業内保育園を筆頭に問い合わせが続いており、働きやすさ向上への貢献が期待されている。

ユーザー部門

ソリューション&部門